



平成27年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書



- 主催:長野県木材青壮年団体連合会
- 共催:長野県/中部森林管理局/長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- 後援:長野県教育委員会/長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL : 026-226-1471 FAX : 026-228-0580

メール : n-msr@siren.ocn.ne.jp
WEB : <http://n-msr.com/>

第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対象者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】 (1) テーマ
自由（ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること）
(2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。
(3) 締め切り
平成27年9月11日(金)
(4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場 所	内 容
平成27年 6月中旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月～ 8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月11日	県下全域	作品応募締め切り（作品の回収）
9月12日～10月 2日	県下全域	各地区審査会を実施
10月23日	松 本 市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月23日～30日	松 本 市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
11月24日～27日	長 野 市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁講堂前にて展示
12月12日	東 御 市	東御市「梅野記念絵画館」にて表彰式
平成28年 2月28日	長 野 市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展
6月11日（予定）		全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 《基準》

- 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。
- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
 - ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
 - ・機能、デザインが優秀であること。
 - ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成27年10月23日（金） 松本合同庁舎（502会議室）

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
専門主事 倉澤 啓 様
審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
県産材利用推進室
技 師 日詰 究 様
中部森林管理局 中信森林管理署
次 長 宮澤 昌弘 様
(公財)長野県緑の基金
常務理事兼事務局長 菅谷 幸博 様
長野県県産材振興対策協議会
理 事 徳原 敏昭 様
長野県木材協同組合連合会
理事長 細川 忠國 様
長野県木材青壮年団体連合会
会 長 田中 俊章 様
長野県木材青壮年団体連合会
直前会長 宮川 秀紀 様
長野県木材青壮年団体連合会
代行副会長 土倉 宜也 様
長野県木材青壮年団体連合会
副 会 長 田中 雄介 様
長野県木材青壮年団体連合会
副 会 長 寺西 勝 様
計11名



・外部審査委員（左から）
長野県木材協同組合連合会 細川理事長様
中部森林管理局 中信森林管理署
宮澤次長様
長野県林務部 信州の木活用課
県産材利用推進室 日詰技師様
長野県総合教育センター 倉澤専門主事様
(公財)長野県緑の基金 菅谷常務理事兼事務局長様

【審査風景】



【展示風景】 平成27年10月23日～10月30日 松本合同庁舎 1階ロビー
平成27年11月24日～11月27日 長野県庁 1階講堂前広場



【表彰式】 平成27年12月12日(土) 東御市「梅野記念絵画館」



第38回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
神の使い 竜神様	河 田 朋 輝	岡谷市立長地小学校	3 年
森の小人ミードとドーリ	高 良 一 成	茅野市立玉川小学校	5 年
クローバーのテーブル ※1	北 島 瑞 季	原村立原中学校	2 年
マイ本立て ※2	中 村 竜 太	長野県木曽養護学校	中学部 3 年

※1：林野庁長官賞（中学校の部）

※2：日本木材青壮年団体連合会 会長賞

2. 長野県教育委員会賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
リスと森の時計台	馬 宮 誠 洋	原村立原中学校	3 年

3. 中部森林管理局 局長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
くわがた	清 水 咲 乃	上松町立上松小学校	1 年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
春の草花	小 林 礼 乃	南木曾町立南木曾小学校	5 年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
いかくしているカマキリ	掛 川 聖 乃	佐久市立中佐都小学校	3 年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
彫刻	中 澤 裕 輝	伊那市立西春近南小学校	6 年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
つりばし	向 山 恭 平	茅野市立宮川小学校	3 年

8. 優 秀 賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
水車小屋	一之瀬 大 翔	上田市立長小学校	5 年
ついたて	柏 原 伶 次	東御市立祢津小学校	6 年
ヘビ	齊 藤 友 仁	御代田町立御代田南小学校	3 年
ミミズク	宮 坂 翔 吾	小諸市立水明小学校	3 年
たか	大 井 晴 希	小諸市立千曲小学校	5 年
森のハーモニー	倉 島 仁	小諸市立水明小学校	5 年
木工カレンダー	猪 又 す ず	小谷村立小谷小学校	3 年
ダンプトラック	渡 辺 映 多	茅野市立北山小学校	3 年
諏訪湖の四つ手あみ	林 実 緒	下諏訪町立下諏訪北小学校	4 年
木の葉	牛 尼 明 莉	茅野市立豊平小学校	5 年
ざるそば	福 澤 茉 月	伊那市立伊那小学校	4 年
おばけやしきめいろ	徳 原 基 充	上松町立上松小学校	2 年
ひまわりの花	笠木原 涼 菜	南木曾町立南木曾小学校	2 年
ひのき花	鈴 木 快 歩	南木曾町立南木曾小学校	6 年

□第38回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総 参 加 人 数		5,037 名
参 加 学 校	小学校	146 校
	中学校	3 校
	盲・ろう・養護学校	1 校
	合 計	150 校

審 査 会 出 品 数	86 点
入選（入賞リスト 1～7）	10 点
優 秀 賞	14 点
佳 作	484 点
努 力 賞	4,554 点
総 作 品 数	5,062 点

最優秀賞(長野県知事賞)

神の使い 竜神様

岡谷市立長地小学校 3年 河 田 朋 輝

夏休みのべん強をなぜ木工工作にしたかと言うと、ぼくは、作る事が大好きだからです。

なげりゅうを作る事にしたかと言うと、お寺に行ったら、木で作ったりゅうがかざってあり「カッコイイナー」と思ったからです。

りゅうを作るってきめたので、おじいちゃんの山に材料を集めに行きました。集めた材料はどう体につかった流木と目につかったくるみと角につかったえだど、うろこにつかった木のかわを集めてりゅうを作りました。どう体は、足をボンドでくっつけて、目はくるみを火でやいてボンドでくっつけました。角は、同じ太さに切りました。うろこは、はさみで切ってせなかにボンドではり付けました。

一番大へんだったのは、うろこを一まい一まいたてて、ていねいにボンドではり付けた所が一番大へんでした。

さいごに作ってみた感想は、大へんだったけどどうまくできたのでよかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)

森の小人ミードとドーリ

茅野市立玉川小学校 5年 高 良 一 成

夏休みの宿題で森の小人を作ることになりました。前にお兄ちゃんが作っていて、とてもおもしろそうだったからです。

まず、山へ行って材料(枝、松ぼっくり、どんぐり、実、せみのぬけがら)などを拾ってきました。それとぼくが集めためずらしいはちの巣やせみの虫も用意しました。使う道具はペンチ、釘、鉄のかなづち、木のかなづち、ボンド、ノコギリなどです。

次に台の色ぬりをします。台はD2でお父さんに買ってもらいました。茶色の絵の具でぬりました。それから木の枝でお母さんと子供2人を作りました。ここが一番むずかしかったです。

最後に小人用のかざりをたくさん作りました。小人用のたなは小枝を集めて作り、板にボンドで取りつけました。作ったかざりは、キノコ、はしご、木の実、ぼうし、マント、かご、お皿、タカの羽、ほうきなどを作りました。小さかったのととてもむずかしかったです。

ぼくのミードとドーリもうまくできてよかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)、林野庁長官賞(中学校の部)

クローバーのテーブル

原村立原中学校 2年 北 島 瑞 季

私は最初、テーブルを作ろうと考えていました。そしてどのような形にするかを考えていた時に、ただ一つのテーブルではなく、一つのテーブルとしても、三つのテーブルとしても使えるものを作ろうと考えました。

形はクローバーがいいと最初から思っていたのでクローバーにしました。

小さい机を四つ作るため、糸ノコギリなどを何回も使ったので、うでが筋肉痛になりました。

自分の思ったとおりにつくることができて良かったです。



最優秀賞(長野県知事賞)、日本木材青壮年団体連合会 会長賞

マイ本立て

長野県木曽養護学校 中学部 3年 中 村 竜 太

私は、『働く学習』の作業の時間にこの『マイ本立て』を作りました。作ると聞いた時に、「きれいに作りたいな、楽しみだな」と思いました。

穴あけでは、鉛筆の印にドリルの先がくるように、ずれないようにと気をつけました。手で板を触りながら、ツルツルになるまでやすりをしました。サンダーは一気にできて早くて便利だなと思いました。失敗しないように、鉛筆の線がギリギリ消えないように気を付けて板の角をベルトサンダーで丸くできました。ネジをドリルで、板と板がピッタリになるように組み立てました。

塗が残さないように気を付けてオイルも塗りました。完成した時は「完成したな！」と嬉しかったです。

三年生の友だちと一緒に作業したり、浅漬けとお茶で休憩したり、思いでいっぱいの作品になりました。



長野県教育委員会賞

リスと森の時計台

原村立原中学校 3年 馬 宮 誠 洋

私は、今年の夏休みに、木工で時計をつくりました。私は3年間木工で時計をつくっていました。今年の作品は3年の間で一番良い作品になりました。今までの時計は、平面な時計でした。それに対し、今年の時計は、立体的な時計に仕上げました。また、飾りにも工夫を加えました。リスや机など、飾りにも立体的に仕上げました。

また、時計の形は木の形にしたのですが、木の表情を表現するのにとても苦労しました。

また、塗装もとても難しかったです。むらがないように注意して塗りました。時間も、今までより多くかけて仕上げました。

この作品は、3年間の作品の中で一番良い作品になりました。今までの作品より工夫をして、手間をかけて、作りました。今回で最後なので、木工はできませんが、最後にふさわしい作品になったと思います



中部森林管理局長賞

くわがた

上松町立上松小学校 1年 清 水 咲 乃

なつやすみに木でこうさくすることになりました。もってきた木のなかに、つのような木がありました。だから、くわがたをつくろうとおもいました。どんなかたちだったかこんちゅうずかんをみました。あしのながさをそろえるために、のこぎりで木をきりました。まっすぐきるのがむずかしかったです。

はねのところは、木のかわがちょうどよかった。つをや、あしをボンドでくっつけようとしたらとれてしまった。おとうさんがくぎをもってきてくれました。うごくあしができました。ずかんのくわがたは、めがピカピカでした。おとうさんのもっていたネジがぴったりだったので、めになるようにネジをつけました。

さいごに、くろいろのスプレーでくろくぬったら、ほんものみたいなくわがたができました。



春の草花

南木曾町立南木曾小学校 5年 小林 礼 乃

夏休みの木工工作で、「春の草花」を作ろうと思った理由は、春は花が咲き始める季節で野原がきれいだからです。

うすい木でタンポポ、オオバコ、スマイレ、クローバーの葉とクマバチの羽を作りました。うすい木はわれやすく、切る時に苦労しました。特にクローバーの葉は小さくて数も多いのでわれないように細かいところまで気をつけてたくさん作りました。くきをつける時、なかなかクローバーがくきにつきませんでした。

つくしは頭の部分は家にあった松ぼっくりをかんそうさせ、はかまの部分は木の皮を山形に切って木につけて作りました。タンポポとオオバコとスマイレの葉をくっつけるのが大変でした。ハチはパーツを組み合わせました。

作っていると細かくていやになりそうでした。でも最初に思ったとおりに作ろうと最後までがんばりました。



いかくしているカマキリ

佐久市立中佐都小学校 3年 掛川 聖 乃

わたしがかまきりを工作にしようと思ったきっかけは、外ですごく大きなかまきりがいてびっくりしましたが、とてもかっこいいし強そうだったのでかまきりを作ってみようと思いました。

作りだしてみてもうしたところはカマキリの足をあまり曲げすぎると足の形がおかしくなってしまうので少しずつ曲げてみたり、お母さんに手つだってもらってライターで少しずつあたためて曲げていきました。そのおかげで足の部分もうまく曲がって本物のカマキリのような足の形になってよかったです。

とてもくろうしたところも多かったけれど、さいごまであきらめないで作れてよかったと思いました。出来上がった作品をお友だちや家族にほめてもらってうれしかったです。これからもいろんな作品を見たり作ったりして、またしょうをとれるようにがんばりたいと思います。



彫刻

伊那市立西春近南小学校 6年 中 澤 裕 輝

ぼくは、夏休みの自由研究で得意な工作をしようと思いました。大好きな工作の中で、母にすすめられた彫刻に挑戦しようと決めました。ぼくの祖母の知り合いにプロの彫刻師のおじさんがいるので、そのおじさんに彫刻を教えてもらうことになりました。

ぼくには、彫刻の技術などありませんでした。しかし、彫刻の技術を学ぶことにとても興味がわきました。

ぼくはまず、木を集めておじさんの所へ行きました。おじさんは、ぼくにていねいに教えてくれて仕上げの塗料もとても良い物を用意してくれていました。

彫刻を彫る時おじさんがといで刃がするどくなった三十センチほどの彫刻刀と木づちを使って彫っていきました。たまに彫りすぎてしまった所もあったけれどおじさんが彫りすぎた所を目立たなくして助けてくれました。たまに手が痛くなったけれど仕上がっていくうちに気にならなくなりました。

周りの人々の協力を得てタカの彫刻ができました。みなさんに、ありがたいの感謝の気持ちでいっぱいです。



つりばし

茅野市立宮川小学校 3年 向 山 恭 平

ゴールデンウィークに、家族で浜松の山の公園へ行くと、とても長い「つりばし」がありました。すごく揺れて、こわくて、でも楽しかった思い出がありました。だから木工工作コンクールで絶対に作ってみたいと思いました。

「つりばし」の揺れる感じができるようにするのが難しかったです。が、「つる」を使えば曲線ができることが分かりやってみました。でも、曲げると折れたり、割れてしまったりして何度もやり直したのが大変でした。

どんぐりで「りす」と「とり」を作ったのがとても楽しかったです。「つりばし」を渡っているのは、「ぼく」なのですが、少しこわがっているように作りました。自分の考えていた作品が作れたので、満足しています。

